



なお知らせ！

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 **9月23日手話の日**

県内市町の手話言語条例 間もなく過半数到達

～9月市議会で2市が成立予定 制定市町で県人口割合の8割を占める～

9月17日に神埼市議会、9月19日に鳥栖市議会にて、それぞれ条例が可決施行される見込みです。(条例名(案)は下記のとおり)

● 神埼市手話言語の普及および障がいの特性に応じたコミュニケーション 手段の利用の促進に関する条例

● 鳥栖市手話言語条例 ※●印=手話言語条例、●印=情報コミュニケーション含む

鳥栖市の手話言語条例は議員提案で、当事者を入れた議員学習会を開催するなど、丁寧な段取りで進められました。

新たに2市の条例成立によって、9市(多久市は今秋市議会提案予定で検討中)、1町(江北町)の条例制定となり、県人口に占める割合は総人口の81%、ろうあ者(手帳1・2級所持者)人口の78%となります。手話言語の普及・啓発が大いに期待されます。

【県内の条例成立・施行】

- 嬉野市 (成立→施行日)
H26.6.20 → H26.7.1
- 佐賀県
H30.9.25 → H30.9.26
- 唐津市
R1.12.23 → R1.12.23
- 武雄市
R3.3.18 → R3.4.1
- 佐賀市
R5.3.23 → R5.4.1
- 小城市
R7.3.11 → R7.4.1
- 江北町
R7.3.14 → R7.4.1
- 伊万里市
R7.3.21 → R7.4.1
- 鹿島市
R7.3.25 → R7.4.1

佐賀県議会 一般質問 同時手話通訳《9/17.18.19の3日間》



↑写真：6月定例会の配信の様子

佐賀県議会9月定例会は10日(水)に開会しました。一般質問は17日(水)から19日(金)の3日間行われます。午前10時から始まり、1日5人×3日間、計15人の議員より質問が出され、執行部(県知事・部長等)より答弁が行われます。一般質問の様子はYouTubeで配信されており、今回も手話通訳が入ります。前回からUDトークを使った字幕配信も行われています。ぜひ視聴してください。

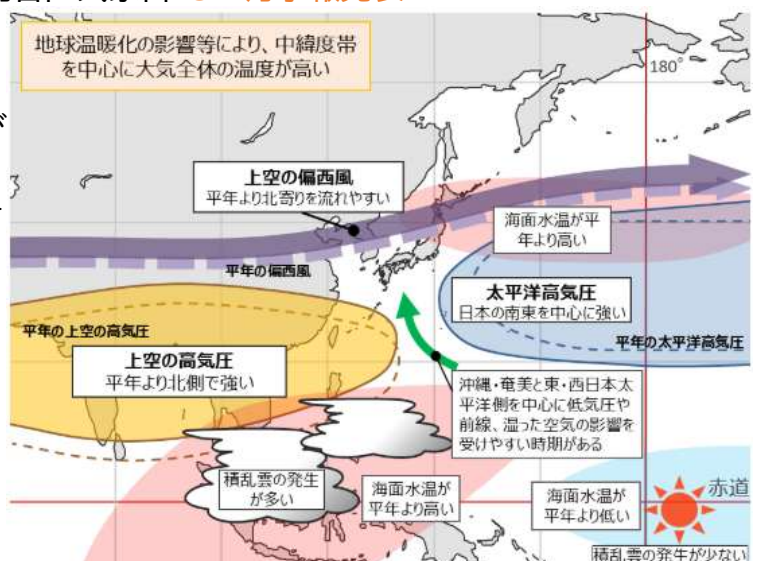


●向こう3か月の天候の見通し～福岡管区气象台・3か月予報発表～

北部九州地方の向こう3か月は、暖かい空気に覆われやすいため、気温は高いでしょう。9月、10月は平均気温より高い見込みで、記録的な暑さが続きます。熱中症には十分に注意しましょう。クーラーの適切な使用や水分・塩分の補給等、身の安全を守りましょう。(8月19日発表)

★強い紫外線に注意★海や山に行って紫外線を強く浴びた後、夜に目がすごく赤くなる。紫外線による「急性の結膜炎」です。急性の紫外線障害は、普通は2～3日くらいで自然に治ります。これを繰り返していくと少しずつ影響が出てきて、目の老化により年齢より早く白内障になる場合もある。

★紫外線対策★昼間の紫外線が強い時間帯の外出をさける、紫外線防止のサングラスをかける、帽子や日傘を使う。 <参考：読むらじる><https://www.nhk.or.jp/radio/magazine/article/nhkjournal/iry20250430.html>



<図：気象庁HPより>

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010900&term=P3M>

役に立つ 新シリーズ【36】

歯医者さんでよく耳にする「8020（ハチマルニイマル）運動」、これは「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いが込められています。1989年から歯科医師会が推進し、達成している方が、30年間で人口の7%から50%まで増加しました。



これにならって、昨年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が【聴こえ8030運動】を実施しています。補聴器装用時も含めて、80歳で30dBのささやき声が聞こえるくらいの聴力を保とうという運動です。（dB…デシベル音の大きさの単位。数字が大きくなるほど大きな音。）80歳で30dBの聴力を保つことができれば、会話や音楽を楽しむことができます。

日本老年医学会によると、80歳で30dBの聞こえを維持している割合は現状では30%、この運動により20年後には50%への伸長を目指しています。

加齢性難聴対策としては、

- ・大音量で音楽などを聴かない
 - ・騒音の場所を避ける
 - ・騒音下の仕事では耳栓を装着
 - ・静かな場所で耳を休ませる
 - ・栄養バランスのとれた食事、適度な運動で耳の血流を良くする
- などがあり、聞こえが悪くなったら補聴器の装用などが勧められています。



聴こえ8030運動

サポートセンターでは、佐賀県耳鼻咽喉科医会に協賛して取り組んでいます。

出前講座～今後の予定～

加齢性難聴に関する講話と、希望者には聴力測定を行います。出前講座を希望される方は当センターへお問い合わせください。

- 多久市
原口公民館(北多久町)
9月26日(金)10:30～
- 唐津市
中山公民館(相知町)
10月8日(火)10:30～

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12（佐賀商工ビル4階）

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

ご存じですか？

「佐賀県感染症情報センター」

佐賀県感染症情報センターのホームページでは、佐賀県内の感染症発生動向調査を週ごとに発表（水曜日更新）されています。報告数の多い疾患（感染症）と、注目疾患の動向を紹介します。**9/10(水)発表**
＜2025年第36週 9/1(月)～9/7(日)の一週間＞

No.	疾患名	報告数	前週比
1	新型コロナウイルス感染症	262	+13
2	伝染性紅斑	84	+36
3	感染性胃腸炎	41	-7
4	RSウイルス感染症	37	+12
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	+6

＜注目疾患の動向＞

●腸管出血性大腸菌感染症(O157(オーイチゴーナ))の報告が2件2名。手洗いや食材の十分な加熱等を心掛け、感染予防を。

●新型コロナウイルス感染症の報告数が増加。手洗い、咳エチケット、こまめな換気など感染予防を。

●伝染性紅斑の報告数が増加、流行発生警報継続中。手洗い、咳エチケットなどにより感染予防を。

ホームページでは疾患ごとの発生動向が分かりやすく表示されています。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の他にも、小児科、眼科に関する疾病・感染症や、マイコプラズマ肺炎や感染性胃腸炎(ロタウイルス)など、19疾病が掲載されています。 <https://kansen.pref.saga.jp/top>



	疾患名	流行の状況
インフル エンザ	インフルエンザ	△
	新型コロナウイルス感染症	△

↑この時は、インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も「平年並みの発生数」という意味です。

😡	たいへん 流行しています	😊	平年並みの 発生数です
😞	流行しています	😄	平年より少ない 発生数です

編集後記：デフリンピック開会まであと2か月！fight! kiyo

＜開館時間＞

9:30～18:00

＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日